

春の叙勲

伊藤長三氏が土地改良事業功勞により 旭日単光章を受章

伊藤長三氏は、昭和49年に西木村宮田堰土地改良区理事に就任されてから、西木村土地改良区理事長、仙北農業共済組合理事などを歴任。永年にわたり土地改良事業に尽力され、現在も西木土地改良区理事長、仙北市農業委員会委員としてご活躍されています。



角館中学校生徒が桜並木にお礼肥

角館中学校2年生133人が体験学習として、角館の桜まつりの人気スポットで、多くの観光客が訪れる国名勝桜木内川堤桜並木のうち、横町橋から古城橋までの約800m、160本のソメイヨシノの根本に肥料を与える「お礼肥」を5月28日に行いました。

昭和63年からスタートしたこの体験学習は、毎年角館中学校2年生が行う恒例の活動として受け継がれ、今年で22回目となります。教育委員会職員から桜や市内の文化財、肥料の与え方の説明を受けた後「今年もきれいな花をありがとう。来年もきれいな花を咲かせてほしい」という感謝と願いを込めて生徒たちが桜の根本に肥料を与えました。桜も応えてきっとすばらしい花を咲かせてくれることでしょう。来年の桜が楽しみです。



神代に植えられた「神代桜」

「神代桜」は日本一古い桜で、2千年もの間、一度も休むことなく花を咲かせ続けてきました。エドヒガンの古木であるこの桜は、日本三大桜(他に三春滝桜、根尾谷淡墨桜)にも数えられている、国指定天然記念物です。

森腰さくらの会では、この度、実相寺(山梨県北杜市武川町山高)というお寺の境内にある、「山高神代桜」の苗木を北杜市から譲っていただき、神代地区の大沼農村広場に植樹しました。(実相寺の「山高神代桜」は、根回りが13.5mもある大木です!)

農村広場に日陰を作るために、植樹を考えていた同会では、名前の縁から譲っていただいたこの桜が見事な大木になり、広場に集う人たちの癒しになる日を待ち望んでいます。



秋田内陸線駅がボランティアの力で美化向上!

6月14日、秋田内陸線を守る会(会長 鈴木定平さん)が、観光客や地元住民に内陸線を気持ちよく利用してもらおうと、内陸線社員、駅愛護会、市役所職員に呼びかけて、駅の塗装作業を行いました。

また、19日には、美郷町のはりま建設株式会社による塗装ボランティアも行われました。

塗装が行われたのは、羽後太田駅、西明寺駅、八津駅の駅舎外壁、内壁、手すり、看板等で、明るくさわやかな印象に生まれ変わりました。

参加した羽後太田駅愛護会の羽崎勝宣さんは、「駅は見違えるほどきれいになった。内陸線を支える仲間と一緒に流す汗は気持ちよく充実感がある。地元住民はもちろん、観光客にも快適に利用してもらえたらうれしい」と話していました。

